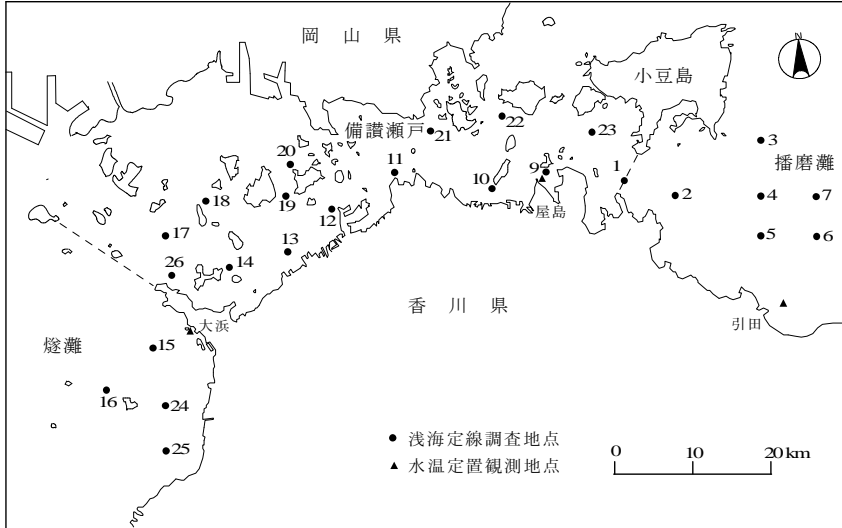


香川県漁海況情報 平成 25 年 1 月 (H24-10 号)

香川県水産試験場

1. 海況

1) 観測地点



2) 浅海定線調査

(1) 調査日

平成 25 年 1 月 8 日 (備讃瀬戸, 燧灘), 9 日 (播磨灘)

(2) 水質概況

平年と比較すると、水温と塩分は「やや低め」から「平年並み」、透明度と溶存酸素は「平年並み」から「やや高め」であった。

1月

		水 温 (°C)			塩 分 (PSU)			透明度 (m)	溶存酸素 (ml/l)	
		表層	10m層	底層	表層	10m層	底層		表層	底層
播 磨 灘	7地点平均値	11.5	11.5	11.2	32.1	32.1	32.1	11.0	6.01	6.16
	平年値	12.6	12.6	12.5	32.5	32.5	32.6	8.1	5.97	5.94
	平年偏差	-1.1	-1.1	-1.3	-0.4	-0.5	-0.5	2.9	0.04	0.23
	標準偏差(σ)	1.0	1.0	1.1	0.7	0.7	0.6	2.8	0.27	0.28
	状 況	やや低め	やや低め	やや低め	やや低め	やや低め	やや低め	やや高め	平年並み	やや高め
備 讃 瀬 戸	14地点平均値	11.0	10.9	10.9	32.3	32.4	32.4	8.5	5.95	6.24
	平年値	12.0	12.0	12.0	32.7	32.7	32.7	6.0	5.98	5.98
	平年偏差	-1.0	-1.0	-1.0	-0.4	-0.4	-0.4	2.5	-0.03	0.26
	標準偏差(σ)	1.0	1.1	1.1	0.7	0.7	0.7	1.9	0.30	0.27
	状 況	やや低め	やや低め	やや低め	平年並み	平年並み	平年並み	やや高め	平年並み	やや高め
燧 灘	4地点平均値	11.8	11.8	11.8	32.5	32.6	32.6	7.3	6.27	6.13
	平年値	12.4	12.4	12.4	32.9	32.9	32.9	7.2	6.04	5.93
	平年偏差	-0.6	-0.6	-0.6	-0.4	-0.3	-0.3	0.1	0.24	0.20
	標準偏差(σ)	1.2	1.2	1.2	0.7	0.6	0.6	2.4	0.29	0.24
	状 況	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	やや高め	やや高め

平年偏差 = 平均値 - 平年値

平年値の算出期間

水温, 塩分及び透明度: 昭和 56 年 (1981) 1 月 ~ 平成 22 年 (2010) 12 月

溶 存 酸 素: 昭和 56 年 (1981) 2 月 ~ 平成 22 年 (2010) 12 月

水温は, 毎月 1 日の値に補正。

平年並み $0 \sigma \leq \text{平年偏差} < 0.6 \sigma$ (σ : 標準偏差)

やや高め (やや低め) $0.6 \sigma \leq \text{平年偏差} < 1.3 \sigma$

かなり高め (かなり低め) $1.3 \sigma \leq \text{平年偏差} < 2.0 \sigma$

著しく高め (著しく低め) $2.0 \sigma \leq \text{平年偏差}$

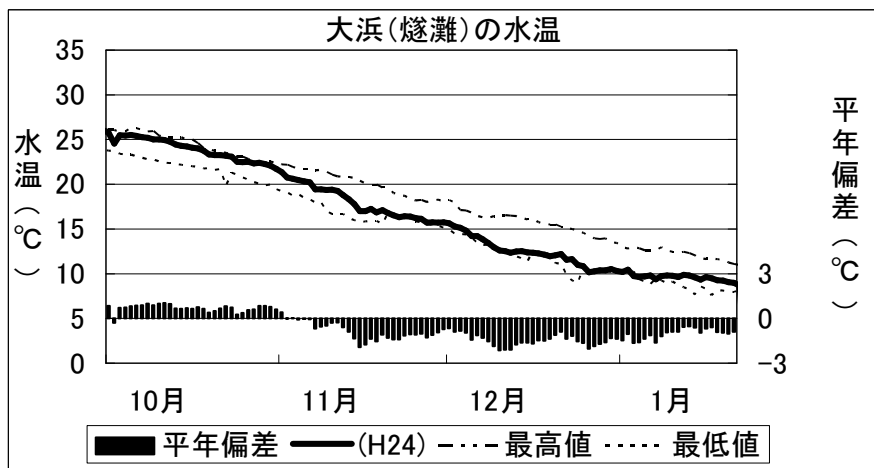
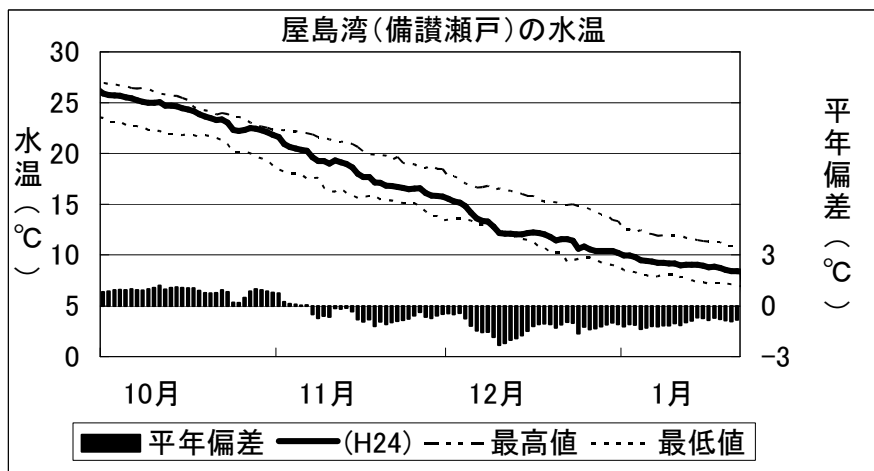
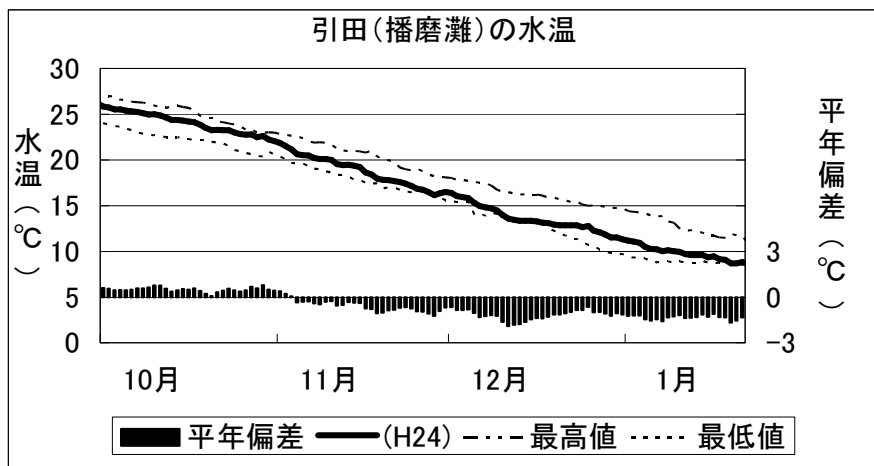
3) 定置観測 (水温)

播磨灘 (引田) : 10 月は平年並みからやや高め, 11 月は平年並みからかなり低め, 12, 1 月はやや低めから著しく低めの間で推移している。(12 月中旬に 1 日, 1 月中旬に 1 日, 過去最低値を更新。)

備讃瀬戸 (屋島) : 10 月はやや高めからかなり高め, 11 月は平年並みからやや低め, 12 月は平年並みから著しく低めの間で, 1 月はやや低めで推移している。(12 月初旬に 1 日, 中旬に 2 日過去最低値を更新。)

燧灘 (大浜) : 10 月はやや高めからかなり高め, 11 月は平年並みから著しく低め, 12, 1 月はやや低めから著しく低めの間で推移している。(11 月下旬に 3 日, 12 月中旬に 7 日, 1 月初旬に 2 日, 過去最低値を更新。)

平年値の算出期間 引田及び大浜 : 平成元 (1989) ~平成 23 (2011) 年
屋島 : 昭和 50 (1975) ~平成 23 (2011) 年



4) 赤潮 (12月20日～1月19日)

播磨灘：発生無し
 備讃瀬戸：発生無し
 燧灘：発生無し

5) 卵稚仔

調査日：平成25年1月8日（備讃瀬戸，燧灘），9日（播磨灘）
 出現量

－：平年値が0の場合を示す。（その他の魚類については平年値がない。）

平年値の算出期間

カタクチイワシ：昭和55（1980）年度～平成23（2011）年度

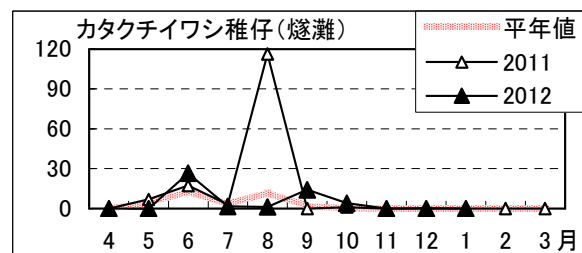
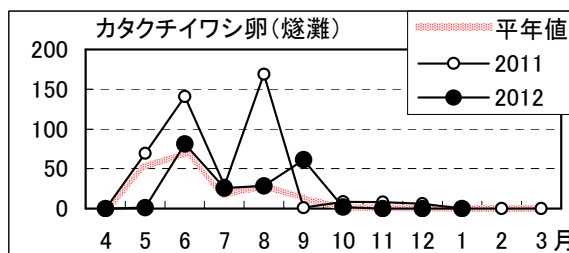
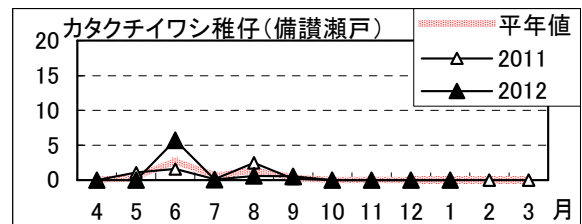
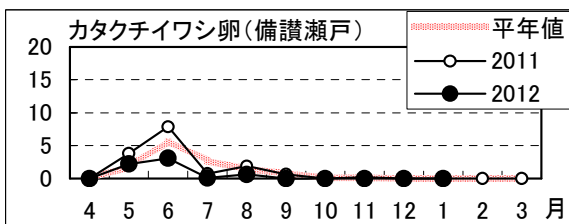
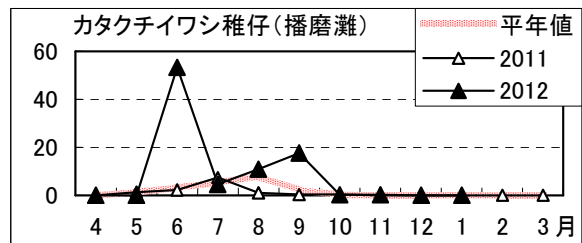
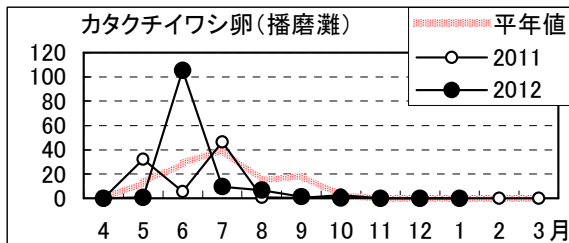
マイワシ：平成6（1994）年度～平成23（2011）年度

イカナゴ：昭和56（1981）年度～平成23（2011）年度

		カタクチイワシ		マイワシ		イカナゴ		その他の魚類	
		卵	稚仔	卵	稚仔	卵	稚仔	卵	稚仔
播磨灘	平均値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.3	0.0	0.5
	対平年(%)	-	0.0	-	0.0	-	95.6		
	平年値	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	2.4		
備讃瀬戸	平均値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.5	0.0	0.4
	対平年(%)	-	-	0.0	0.0	-	76.3		
	平年値	0.0	0.0	0.2	0.4	0.0	4.6		
燧灘	平均値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	対平年(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	-	0.0		
	平年値	0.0	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0		
総平均	平均値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.6	0.0	0.4
	対平年(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	-	80.0		
	平年値	0.0	0.0	0.2	0.2	0.0	3.2		

*マイワシの卵・稚仔は，平成14年度以降，確認されていません。

*イカナゴの卵は，沈性弱粘着卵のため，プランクトンネットではほとんど採集されません。



平年値は1980年から2011年度の平均

2. 漁況

1) 12月からの漁況は次のとおりである。

海 域	漁 況
播 磨 灘	底びき網ではメイタガレイ、ウシノシタ類、マアナゴ、スズキ、ヒラメ、マダイ、小エビ類などが漁獲されている。 建網ではマダイ、スズキ、メバル、クロダイなどが漁獲されている。 柵網ではマコガレイ、マダイ、クロダイ、ウマヅラハギ、カワハギ、スズキ、メバル、ナゴヤフグ、マルアジ、シログチなどが漁獲されている。
備 讃 瀬 戸	底びき網ではイイダコ、メイタガレイ、マアナゴ、コウライアカシタビラメ、ヒラメ、マダイ、コイチ、スズキ、アカニシ、ガザミ、ベイカ（ジンドウイカ）、小エビ類、シロギス、ウマヅラハギなどが漁獲されている。 建網ではメバル、カサゴ、マダイ、クロダイ、セトダイ、スズキなどが漁獲されている。
燧 灘	底びき網ではガザミ、イヌノシタ、オニオコゼ、メイタガレイ、シヤコ、小エビ類、テンジクダイ、マルハギ、シラサエビ、イイダコ、クロダイなどが漁獲されている。

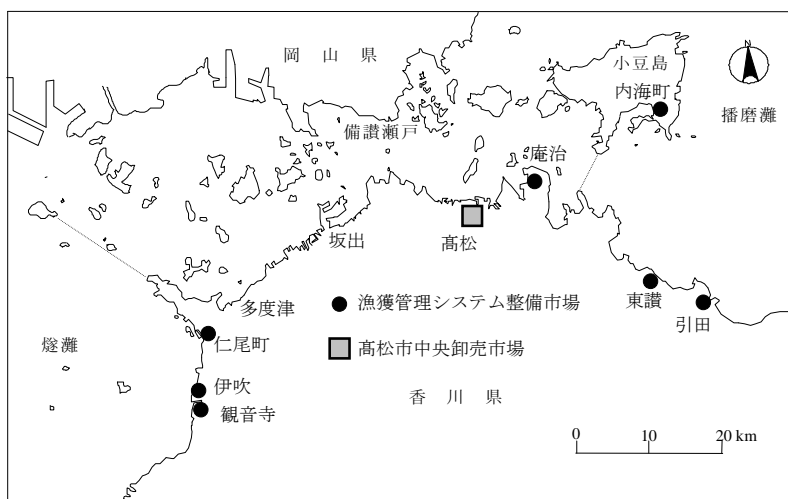
2) 香川県の漁獲情報

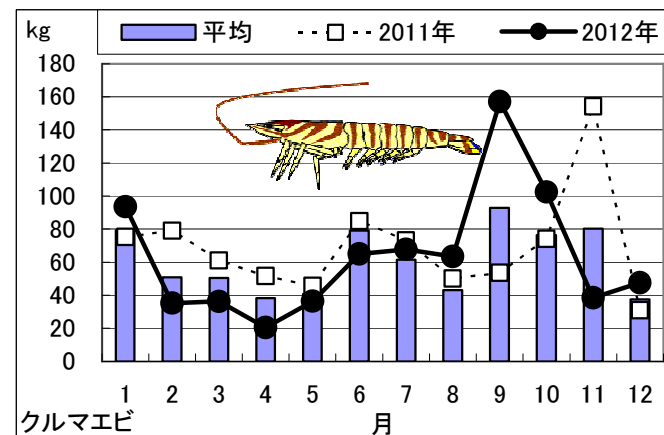
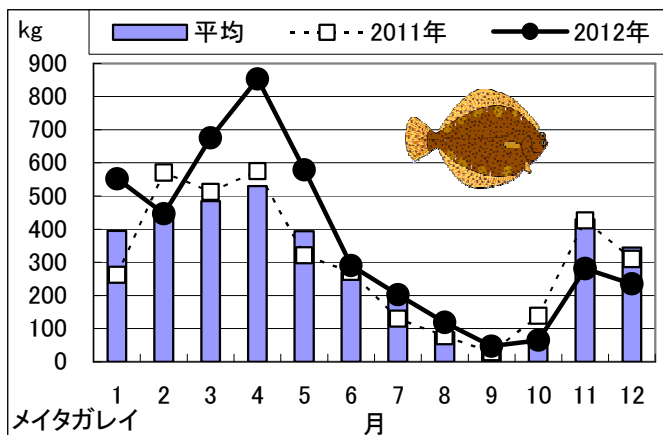
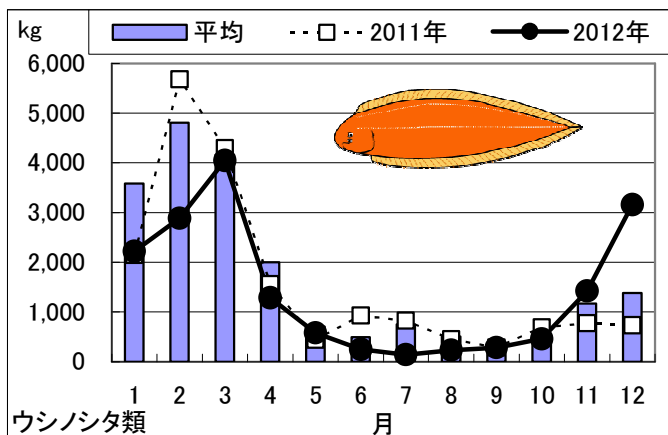
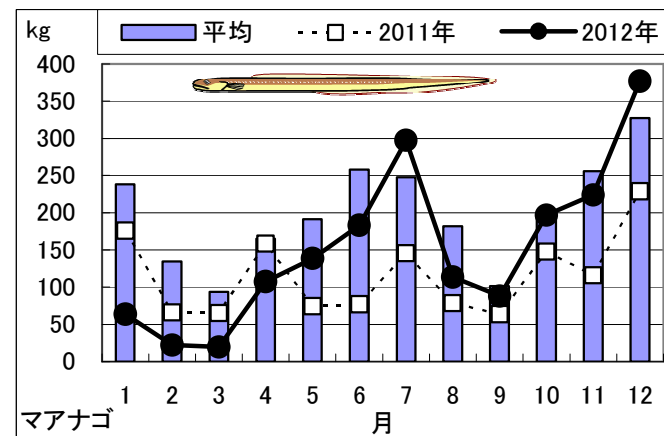
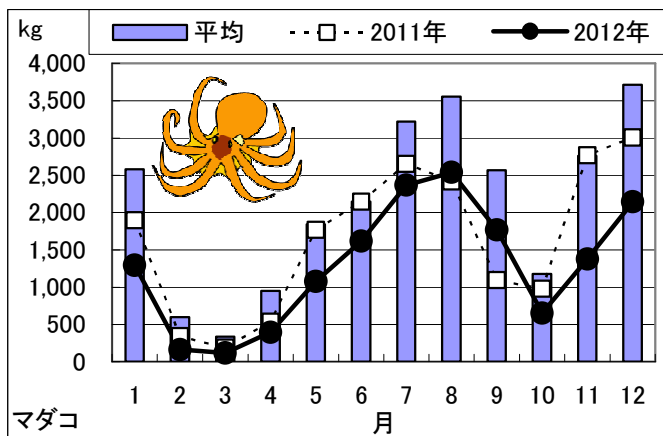
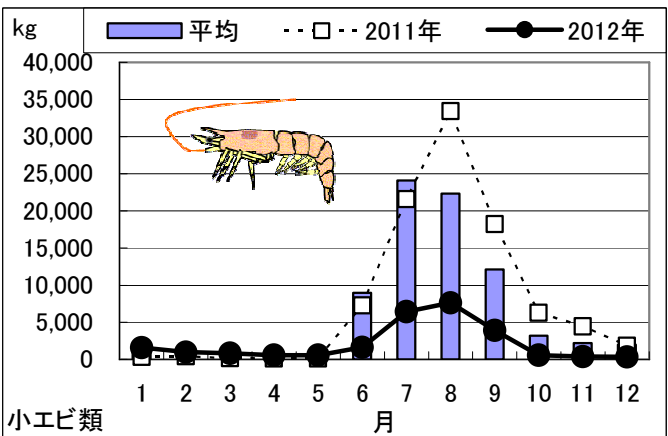
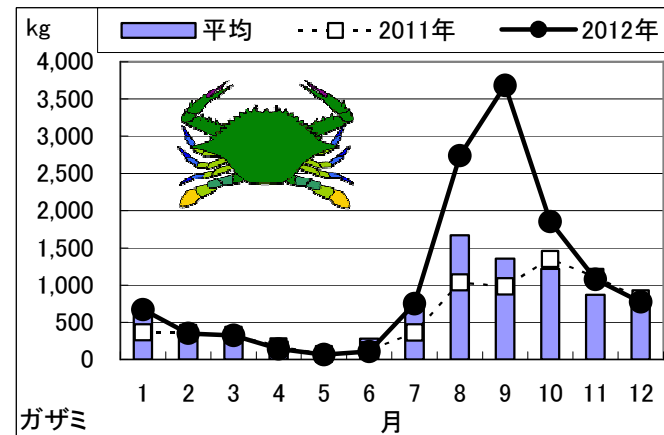
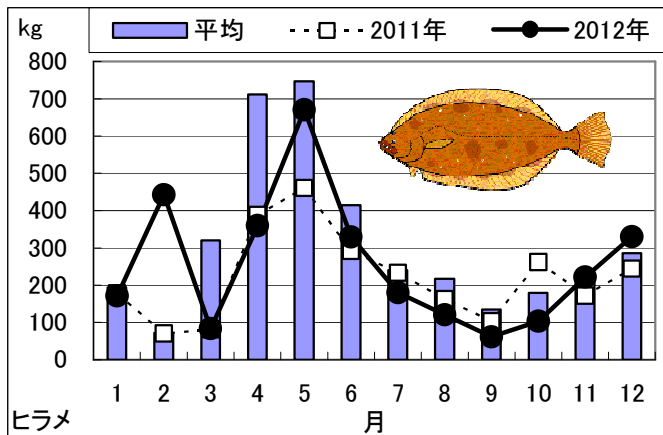
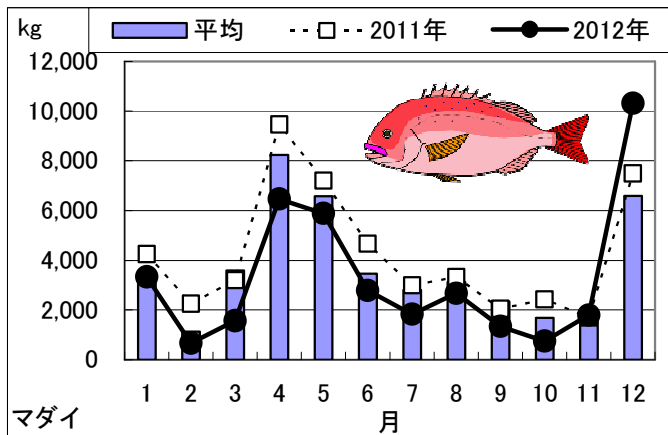
(1) 漁獲管理（TAC）システムデータ

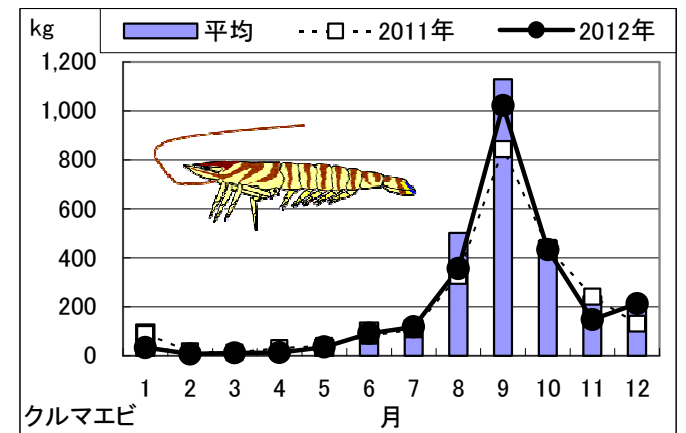
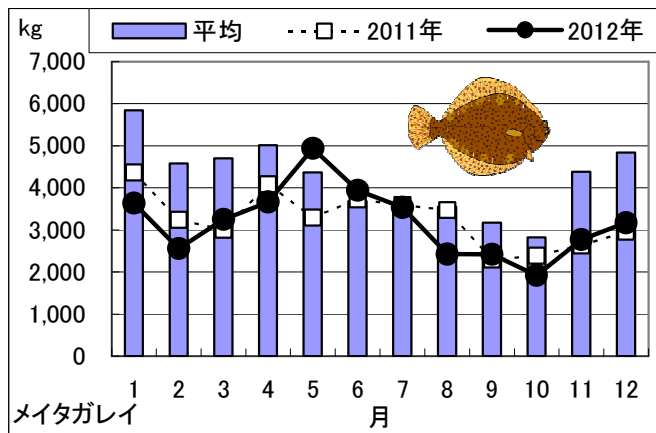
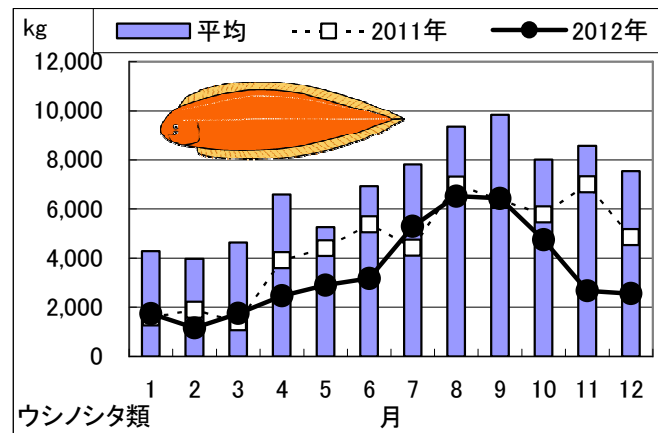
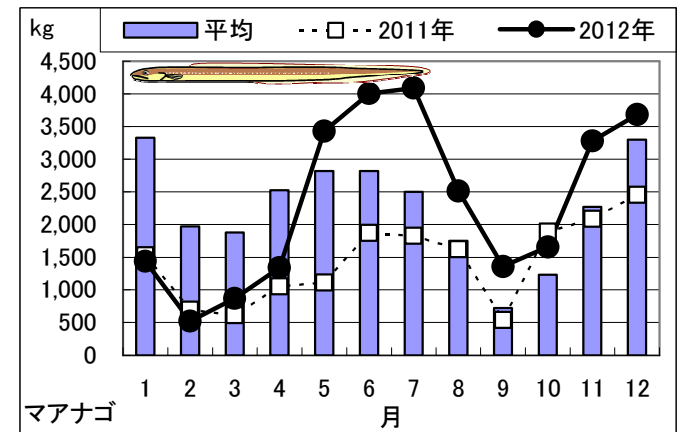
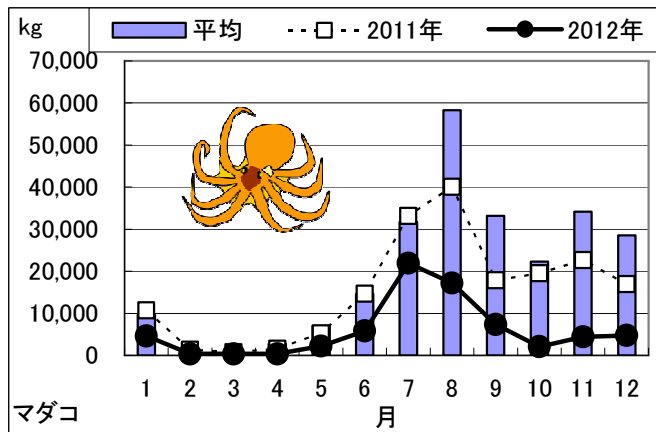
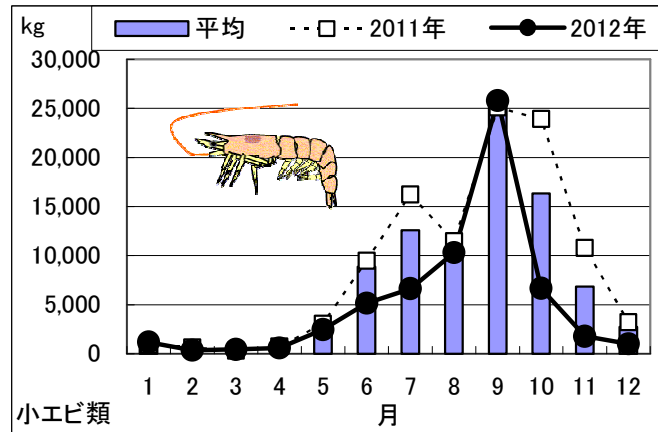
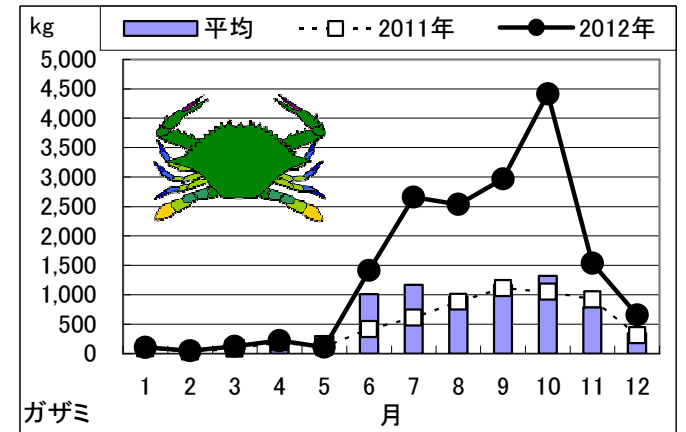
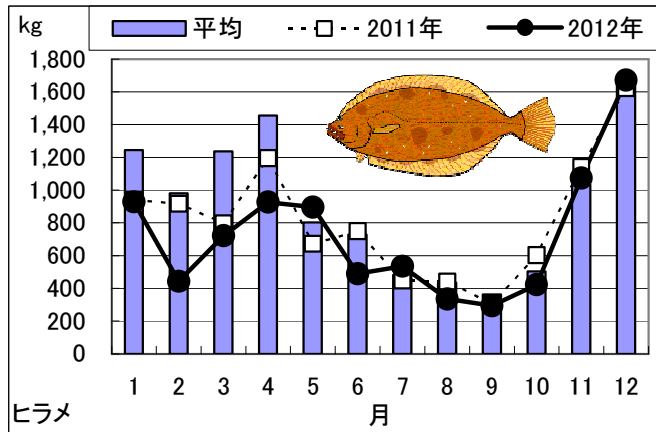
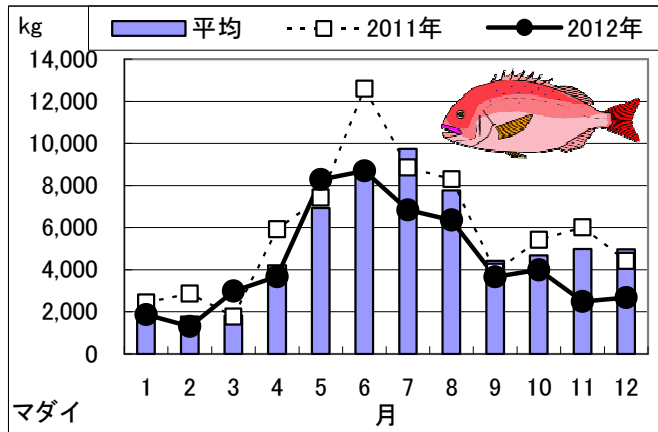
日本周辺の生物資源を適切に管理保存するためのTAC(漁獲可能量)を迅速に把握することを目的とした全国システムで、本県では以下の産地市場に整備されている。

(2) 高松市中央卸売市場データ

水産物のうち生鮮水産物（香川県全体からの集荷物）について、高松市中央卸売市場のホームページで公開されている情報を水産試験場で集計したもの。







燧灘（仁尾町、観音寺、伊吹）のTACデータより

平均値は、2007年から2011年の5年間の平均。

